

新しい時代に対応できる、「強い」まちをつくっています！



20年後には、90万人台。その時65歳以上は約4割、15歳未満は1割を切る予想。

立地適正化計画を活用し持続可能なまちを

市の現人口は約109.8万人(令和5年6月)ですが、将来、少子高齢化が進むとされます。災害に強く、財政や労働力不足を克服する都市を目指さなければなりません。総合計画に続き、都市計画審議会の委員として、都心と郊外の魅力的で安全安心なまちをつくる立地適正化計画の策定を提言し、3月に綿密な計画が完成しました。これらを基に国の制度・予算をもっと活用すべきです。

仙台市立地適正化計画について(仙台市HP)▶



東北の大動脈・国道4号線の立体化で、安全確保と経済振興を

箱根交差点立体化完成イメージ



大震災の教訓から、避難経路の確保と国道4号線の慢性的な渋滞解消の必要性・優先度を、市・県に訴え続けてきました。現在、国の事業として、卸町交差点～苦竹IC間1.4Kmの拡幅と立体化の設計・工事が進んでいます。開通は令和6年度の予定です。



さらに、千代大橋～名取大橋間(鹿の又・籠ノ瀬交差点)1.6Kmの立体化のための道路・構造物設計が令和5年度に実施されます。各事業費の1/3は市費ですが、安全と物流・救急搬送等の円滑化が大いに期待できると考えます。他の交差点等の改善も引き続き働きかけます。

箱根交差点立体化(国土交通省HP)▶



広域ネットワークの強化と、地域活動の充実

私たちの生活に身近な道路の整備を推進



霞目飛行場北線は、今年度も防衛省の補助を受け工事をします。農業を考慮し水路の施工期間が見直し、完成は令和11年度の見込みです。整備終了箇所の順次の暫定使用等によって地域の利便性と駐屯地の機能を高めることが肝要です。その他の歩道・道路整備も進んでいますが、通学の安全、住民の健康増進にも寄与できると思います。(六・七郷連接市道等)

編集・発行
菊地崇良事務所



〒984-0038 仙台市若林区伊在1丁目12-27
TEL 022-390-4105 / FAX 022-288-2342
Eメールアドレス: info@kiku-taka.jp

今回掲載の内容も、動画でさらに詳しく!!
▶ YouTube 菊地たかよし放送局



※図の整備状況は平成23年1月時点のものです。

都市計画道路のひとつ、連坊小路と国道286号線を繋ぐ「宮沢根白石線」が3月に一部開通しました。次は宮沢橋の架け替えで、令和8年度の開通に向け関係者が尽力中です。目下の交通の変化に応じた安全策と高架橋化の有効活用についても、道路管理者(区)などと調整を進めています。



工事のお知らせ(仙台市HP)▶



菊地たかよし プロフィール

昭和43年 仙台生まれ / 七郷小学校、蒲町中学校、仙台第一高等学校、東北学院大学(法学部)卒業
令和3年 東北大学大学院(公共政策)修了 / 平成5年 陸上自衛隊入隊、平成22年 二等陸佐で退官
平成23年～ 仙台市議会議員(現在三期目)

役職など(令和5年6月現在)

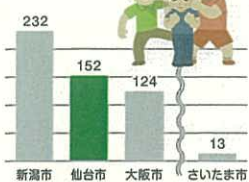
- 総務財政委員会 委員 ● 防災減災推進調査特別委員会 委員
- 仙台市都市計画審議会 委員 ● 仙台市議会会派、せんだい自民党 政調会長
- 仙台市拉致救出議連 幹事長 ● 日タイ友好仙台市議会議員連盟 事務局長
- 仙台市私立幼稚園PTA連合会 副会長 ● 防災士 など



教育・子育ては社会の土台、課題解決が急務！

仙台の教育現場の現状は、全国ワーストレベル

いじめによる中学生の自殺事案が相次いで発生して以降、仙台市では条例を制定するなど教育現場に関する取り組みを強化してきました。しかし、残念ながら右図のとおり状況は一向に改善されておらず、20政令市の中でも低いレベルが続いています。



時期	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3
小学校	282	359	392	501	502	714
中学校	1,149	1,210	1,276	1,376	1,166	1,504
全体	1,431	1,569	1,668	1,877	1,668	2,218

▲令和3年度20政令市比較では、千人あたり件数がワースト7

時期	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3
小学校	12,987	12,344	12,895	11,874	9,899	10,685
中学校	1,928	1,778	1,980	1,872	1,316	1,558
高校	13	10	25	21	16	28
全体	14,928	14,132	14,900	13,767	11,231	12,271

▲令和3年度20政令市比較では、千人あたり件数がワースト2

時期	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3
小学校	217	379	606	895	854	685
中学校	380	353	428	507	392	625
高校	4	13	1	2	1	1
全体	601	745	1,035	1,404	1,247	1,311

▲令和3年度20政令市比較では、千人あたり件数がワースト4

こうした状況にもかかわらず、即効性の無い35人以下学級施策を機械的に推進し、議会では当事者意識の感じられない答弁に終始する市長の対応は本気度が全く感じられません。児童虐待も増加の一途(1,733件/令和3)です。次代を担う子どもたちのためにも、何としても変えてゆかなくてはなりません。

現場のための施策を！

現状を変えるには、何より現場の「環境」と「教育力」を上げることです。

- ① 教育現場の雑務を軽減し教員が本来の業務に集中出来る体制をつくる、
 - ② 不登校生徒のための学級外教室の拡充、
 - ③ スクールソーシャルワーカー・カウンセラーの配置、教頭・主幹・事務職の増員等、
 - ④ 学校管理職の計画的な育成、
- といった施策が有効と考えます。既に会派メンバーとともに提言していますが、今後より一層、力を入れて取り組んでまいります！

PICK UP 地下鉄沿線のまちづくり推進

2月の都市計画審議会で、10ヶ所(約143.5ha)の地区が市街化区域編入の市案となり、令和6年5月の県区域マスタープランでの決定を目指すことになりました。荒井北地区も候補です。地下鉄沿線等の各駅周辺地区とともに、国の示す医療・福祉・子育て・商業等を含む都市機能誘導地域への指定、国土保全と東部拠点の役割、地域の願いを具現化するまちづくりを提言します。



地域課題への取り組み

数多くのご要望をいただいております地域課題についても、持続的継続的に対応。綿密な現地調査を経て町内会・市・関係機関等と連携し、対策を進めています。(以下、取り組み事例の一部を報告)



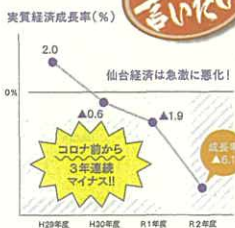
県との意見交換も重要です！

「今こそ、未曾有の少子化に歯止めを！」

令和4年における全国の合計出生率は過去最低の1.26となりました。仙台市はさらに低く、1.10で下降が止まりません。少子化は社会経済活動の根幹を揺るがします。

婚姻や家族の大切さの教育、出産等による不利益の解消、出会いの場の創出等によって婚姻率を向上するとともに、500人を超える隠れ待機児童や配慮を要する子どもたちの支援環境を早急に整えなければなりません。

若者が地元で定着できる雇用の創出も急務です。コロナ禍で疲弊した中小企業や農業を支援するとともに、国の経済安全保障政策に連動して、国内回帰・国産回帰の企業誘致と育成を県や周辺市町村と一体となって進めるべきです。



その他の主要な質疑・提言(一部を抜粋)

- 期末手当等の事務ミス5000万円を市民の税金で補填することへの批判。職員意識と業務フロー改革。行政文書の適切な取扱い。県想定変更を受けた地域防災計画見直し・地域防災・減災訓練の向上。不審気球対応。浸水区域内の学校の安全対策
— 各月の総務財政委員会
- 事務ミスの連続を受け、会派・せんだい自民党が「市長等と特別職の期末手当を引き上げるべきでない」修正案を提出。『私たちは、自ら身を切る覚悟を持っている。議員各位も、市民の代弁者である議員の責務に思いをいたし、市政の健全化と将来の仙台市の発展のため、何とぞ修正案に御賛同ください』と賛成討論を実施
— 令和4年第4回定例会
- 豪雨対策。浸透型道路舗装の導入。市民広報・学校教育
— 調査特別委員会
- 不登校児童生徒の増加。政令市ワースト2のいじめ認知。教員の多忙感解消・苦しむ子供達のための予算配分の見直し。拉致被害者と人権、市民の生命と財産の保護
— 令和5年第1回定例会・予算等審査特別委員会